

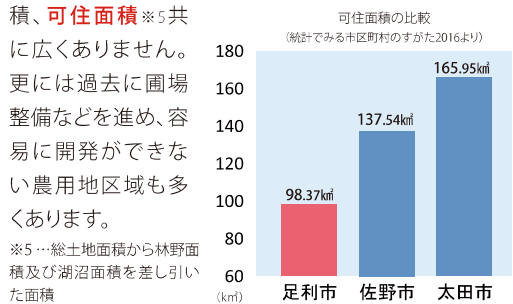
足利の産業団地

人口減少対策への有効手段

多くの自治体で開発が進められている産業団地。自治体等が団地の土地を造成し、企業に分譲します。企業は工場を建設し、事業を始めることで自治体には法人税等の新たな税収が生まれます。また、地元には働く人の雇用が生まれ、下請けなどで仕事も生まれます。雇用やビジネスチャンスが生まれれば、転入者は増え、転出超過は抑制されます。一般的な傾向で工場の数や面積が大きい程、人口は増加し、自治体の財政も安定する相関関係にあります。近隣では太田市、宇都宮市等が好事例です。

土地が少ない足利市

足利市内には13の産業団地があります。昭和45年の「御厨工業団地」「大月・助戸工業団地」から始まり、平成31年に「あがた駅南産業団地」が分譲完了し、今に至ります。よく「足利もどんだん産業団地開発して企業誘致した方が良い」と、ご指摘をいただきます。しかし、市町村合併をしている太田市や佐野市に比べ、していない足利市は面積、**可住面積**※5共に広くありません。



出張！市政報告会・意見交換会

末吉利啓が皆様の地元や会社などに邪魔して、市政報告をいたします。お気軽にお問い合わせください。

■末吉利啓プロフィール■

昭和56年生まれ足利出身のプロレスラー。足利市朝倉町に生まれ福富町で育つ。足利を元気にするため観光や歴史を切り口に地域イベント・プロレス大会の開催、イベントの司会、コラム執筆、講演など様々な活動を通じる。平成27年足利市議会議員選挙に出馬し初当選(現在2期目)。市議会議員プロレスラーとして活動中。

■末吉としひろ後援会■

〒326-0331
栃木県足利市福富町2019-2
☎0284-22-3958
✉info@sueyoshi-toshihiro.com

これからの産業団地開発

足利市の産業団地を開発するためには何が必要なのでしょう。まずは開発できる土地です。一団の土地を低廉に取得するとすると、必然的に農地が候補となります。規制が厳しい農用地区域等を開発するためには、国や県との粘り強い交渉が求められます。ただ農地を減らすだけではなく、計画的な農業振興も示す必要があります。また、開発が進んでいない**国道50号沿線**と、陸橋で交差する**県道20号足利邑楽行田線沿線**は、交通アクセスも良く人気のエリアです。こうした主要道路沿線を開発し、農地と工業地のメリハリを付けることも有効と考えます。事業者については、開発面積に限られることから、高付加価値を生む事業者、多くの雇用を生む事業者の優先的誘致が求められます。そのためには知見を持つ国や県との連携も重要です。



造成工事が進む(仮称)あがた駅北産業団地

もちろん、技術革新やNFTの登場で急速に進むDXにより、製造業の仕組みも大きく変わるかもしれません。近い将来を見据え、様々な変化に対応できる柔軟性を持った政策立案や政策評価を心掛けていきます。いずれにしても、産業団地は大変有効な地域活性化策です。新たな企業誘致、市内企業の転出抑止のため、常に産業団地を分譲できるよう、提言を続けて参ります。

アシカガ+ミライ茶論(サロン)

- 日時/毎月第2水曜日 午後6:30~8:00
- 場所/珈琲蔵(栃木県足利市旭町2292)
- ※毎月行っている意見交換会です。どなたでも参加できます。詳しくはHPへ。

■ホームページ＆フェイスブック＆ツイッター■

【Homepage】<https://sueyoshi-toshihiro.com/>
【Facebook】<https://www.facebook.com/HijiDanjo>
【Twitter】@HijiDanjo

末吉としひろ 検索



スエヨシレポート

足利市議会議員 プロレスラー [末吉としひろ市政レポート]

vol.12
2022年9月発行

特集 「足利の産業団地」

足利の未来は みんなで変える



渡良瀬川の活用本格化

本町緑地民間事業者募集へ

未利用施設利活用

旧大久保分校が美術館に变身
文化課と観光まちづくり課を隣接配置

令和3年12月議会一般質問

- ◎実効性ある計画的な貧困対策 ~子どもの貧困~
- ◎DXで新たなステージへ向かう市民サービス ~自治体DX~

令和4年3月議会一般質問

- ◎子どもたちの命を守るゾーン30プラス ~通学路の安全確保~
- ◎先送りにされてきた庁舎更新の議論 ~市役所庁舎~

討論資料

[写真]あがた駅南産業団地